

Ruby 講義

第3回 Ruby基礎

五十嵐邦明

twitter : igaiga555

<http://www.facebook.com/kuniaki.igarashi>

2013.4.18 at 一橋大学

社会科学における情報技術とコンテンツ作成III
(ニフティ株式会社寄附講義)

○ 剰余金の配当に関するお知らせ

○ ニフティ、「@nifty EMOBILE LTE 定額にねんプラン」の提供を開...

○ 「@nifty温泉」で「母の日 全国一斉！100のありがとう風呂」特設サイト公...

○ 「スマブレ！」のサービス停止について

○ ニフティとサンリオウェーブ、iOS向けアプリ「Hello Kitty Worl...

○ 平成24年3月期 決算短信

○ 特別損失の計上に関するお知らせ

○ 「シウモ」登録会員数150万人を突破、「2012年主婦の全国節電調査（冬季...

ニフティとなら、きっとかなう。

With Us, You Can.

ニフティ株式会社

寄付請義

HOME 会社概要 会社紹介 社会・環境活動 ニュースリリース IR情報 採用情報

■ 就業情報 ニュースリリー

アット・ニフティ @nifty

アクセスマップ

@nifty Web募金 東日本大震災復興支援 募金受付中

2012年4月25日 IR 特別損失の計上に関するお知らせ

2012年4月25日 IR 利益の配当に関するお知らせ

2012年4月19日 プレス ニフティ、「@nifty EMOBILE LTE 定額にねんプラン」の提供を開始

2012年4月10日 プレス ニフティとサンリオウェーブ、iOS向けアプリ「Hello Kitty World」を台湾で提供

2012年4月10日 お知らせ 「@nifty温泉」で「母の日 全国一斉！100のありがとう風呂」特設サイト公開

五十嵐邦明 講師 株式会社万葉



twitter: igaiga555

<https://github.com/igaiga/>

<http://www.facebook.com/kuniaki.igarashi>

濱崎 健吾

Teaching Assistant
fluxflex, inc(米国法人)



twitter: hmsk

<https://github.com/hmsk/>

<http://www.facebook.com/hamachang>

やること

3つの世界

irb でRubyプログラムを実行する

用語の説明：オブジェクト、メソッド、引数

計算

.rb ファイルでRubyプログラムを実行する

※日本語、文字コード、マジックコメント

Ruby環境構築

前回の講義時の環境構築をまだ済ませてない方は、以下の資料に沿ってRubyを実行する環境を作ってください。
RailsInstallerとエディタがセットアップできればOKです。(後半のVirtualBox Ubuntu Image 以降はオプションです。)

<http://bit.ly/ruby-env>

3つの世界

※irb = Interactive RuBy の略

★絵があるとかっこいい

3つの世界

Ruby(irb)

Ruby語が通じる世界
1行ずつコードを実行

Ruby(ファイル)

Ruby語が通じる世界
ファイルにコードを書いて実行

Shell

OS語が通じる世界
ターミナルの中

言葉の解説：コード = プログラム です。
コードって言うとプロっぽくてかっこいいです。

3つの世界

Ruby(irb)

Ruby語が通じる世界
1行ずつコードを実行

Ruby(ファイル)

Ruby語が通じる世界
ファイルにコードを書いて実行

Shell

OS語が通じる世界
ターミナルの中

まずはirbを使ってRubyのコードを書いてみましょう。

irb 起動方法

Mac : ターミナル

Win : "Command Prompt with Ruby and Rails"

Ubuntu : 端末(※分からぬ場合は次のページ参照)

※ ↑ どれも今後はターミナルと呼びます。

を起動して以下のように入力してEnterを押してください。

\$ irb

※先頭の \$ はターミナルであることを表すマークです。
(入力しない)
今後、ターミナルで打つコマンドは同じ書式
(紫の背景色、\$ マーク)で書きます。

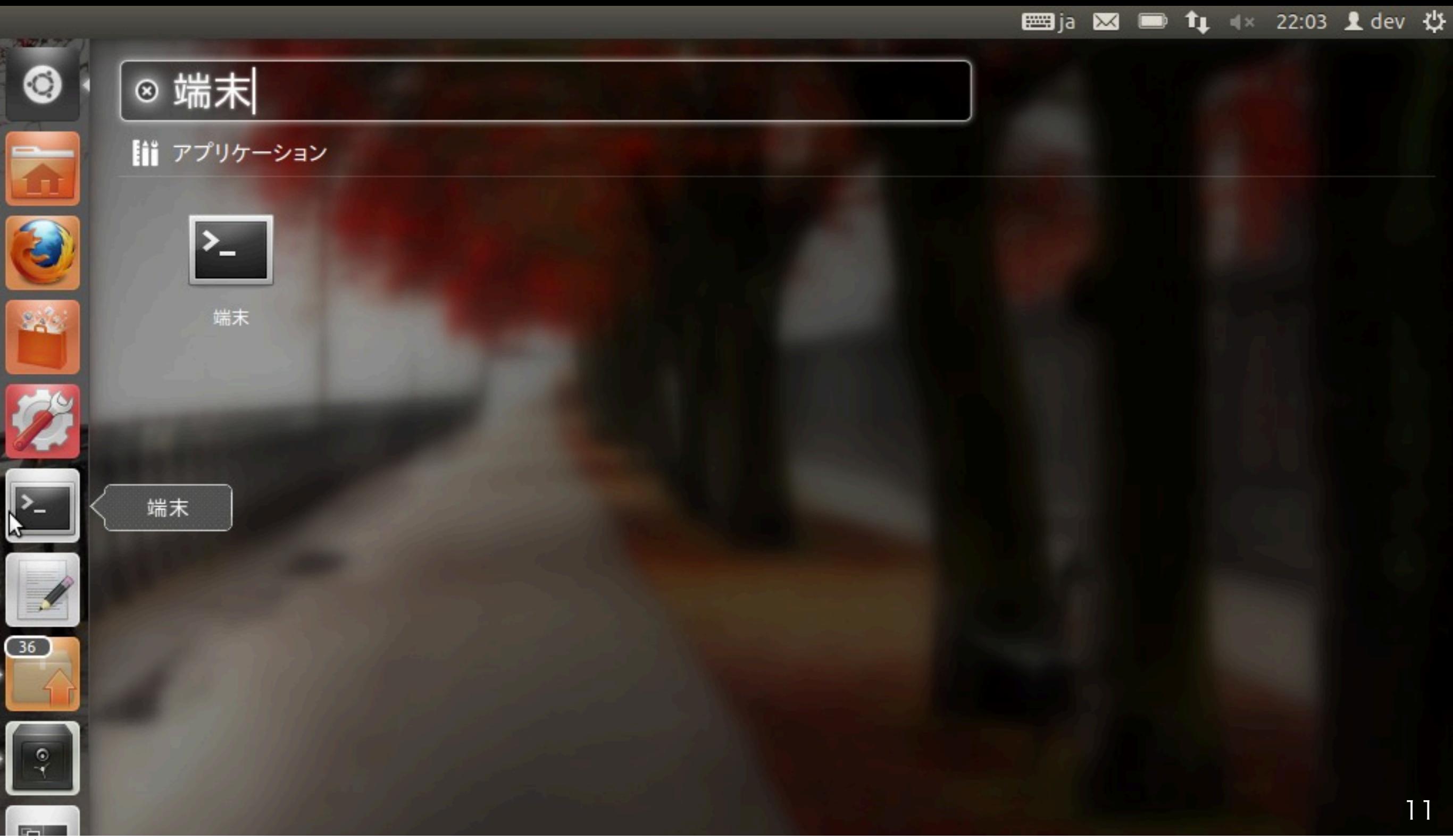
こんな風に表示が出ればOKです。

2.0.0p0 :001 >



Ubuntu 端末起動

1.左メニューの一番上のボタンを押し、検索ボックスに「端末」と打ちます



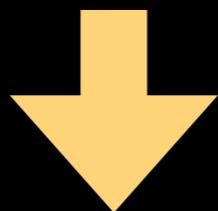
画面に Hello world! と表示するコードを実行

irbで以下のRubyコードを打って、Enterを押して実行します。

```
puts("Hello world!")
```

※緑の背景色はRubyのコードを表します。

```
2.0.0-p0 :001 > puts("Hello world!")
```



```
2.0.0-p0 :001 > puts("Hello world!")
```

```
Hello world!
```

```
=> nil
```

```
2.0.0-p0 :002 > _
```



これが表示されれば成功です。

※irbで画面に表示される行頭の2.0.0-p0はRubyのバージョンです。
環境によって異なります。

画面に文字を表示するコード

画面に文字を表示するコードには、
さきほどの `puts` のほかに、
`print`, `p` というメソッドもあります。

`puts("Hello world!")` 表示後、改行

`print("Hello world!")` 表示後、改行しない
改行する場合は `\n` (Winの場合は`\r\n`) を入れます。
`print("Hello\nworld!\n")`

`p("Hello world!")` デバッグ(=不具合修正)用
この先の講義でよく使います

よく使う 用語の説明

`puts("Hello, World!")`

オブジェクト

`String(文字列)オブジェクト`

`puts("Hello, World!")`

メソッド

引数

メソッド：手続き、命令

引数：メソッドに渡すデータ

次は計算を
してみましょう

以下の計算をしてみましょう

```
puts 1 + 2
```

```
puts 2 - 3
```

```
puts 5 * 10
```

```
puts 100 / 4
```

```
puts 2**32
```

```
puts 10/3
```

```
puts 10/0
```

+ : 足し算

- : 引き算

* : 掛け算

/ : 割り算

** : 累乗

logとかsinとかもあります。

知りたい方はこちら。

<http://miyamae.github.com/rubydoc-ja/1.9.3/#!class/-math.html>

言葉の説明

puts 1 + 2

メソッド

puts 2 - 3

puts

puts 5 * 10

演算子

puts 100 / 4

+ とか - とか

puts 2**32

オブジェクト

puts 10 / 3

1とか2とか

puts 10 / 0

整数オブジェクト

(Fixnumオブジェクト)

計算するときの注意

`puts 1 + 2`

`puts 2 - 3`

`puts 5 * 10`

`puts 100 / 4`

`puts 2**3`

`puts 10 / 3 => 3`

`puts 10 / 0`

ところで、これ、
結果が変だと
思いませんか？

計算するときの注意

整数オブジェクト同士の計算は整数オブジェクトになる

> `puts 10/3`

=> 3 ← 3.33... ではない

小数で求めたい場合は両方もしくは片方を

小数(Float)オブジェクト(例：10.0)にする

> `puts 10.0/3.0`

=> 3.333333333333333

> `puts 10/3.0`

=> 3.333333333333333

数値オブジェクト

Rubyで数値を扱う場合

2：整数オブジェクト

(Fixnumオブジェクト)

3.14：小数（浮動小数点数）オブジェクト

(Floatオブジェクト)

ほかにもあります。そのうちでてきます。

計算するときの注意

puts 1 + 2

puts 2 - 3

puts 5 * 10

puts 100 / 4

puts 23**

puts 10 / 3 => 3

puts 10 / 0

ところで、これ、
何言ってんですか？

**ZeroDivisionError:
divided by 0
from (irb):2:in `/'
from (irb):2**

エラーメッセージ

正しくないプログラムを実行したり、
Rubyが処理に困ると、
エラーメッセージが表示されます。

```
irb(main):001:0> 10/0  
ZeroDivisionError:  
  divided by 0  
    from (irb):2:in `/'  
    from (irb):2
```

日本語訳
ゼロ除算エラーだよ。
0で割ってるよ。
/ のところだよ。

0で割り算するとエラーになるので
注意してください。

次の話題は
少しマニアックですが、
心のどこかに留めて
おいてください

Floatオブジェクトは不正確

0.1を3回足したら0.3になりますよねもちろん

```
irb> 0.1+0.1+0.1 == 0.3  
=> false
```

`==` は 等しいかどうか調べる演算子

0.1を3回足したら0.3にならなかった

Rubyの中の0.1は正確に数学上の0.1と一致しない

※整数(Fixnum)オブジェクトは正確です。

小数を正確に計算したい場合は、
整数にして計算するか、
Rational(有理数)オブジェクトを使う

Rational(1/10) +

Rational(1/10) +

Rational(1/10) == Rational(3/10)

=> true

1/10を3回足したら3/10になった

Rational(分母/分子)

では、
irb の世界から抜けて、
shell の世界へいきます。

3つの世界

Ruby(irb)

Ruby語が通じる世界
1行ずつコードを実行

Ruby(ファイル)

Ruby語が通じる世界
ファイルにコードを書いて実行



Shell

OS語が通じる世界
ターミナルの中

irb の世界と shell の世界

irb の外は shell という世界

\$ irb

shell語が通じる世界 shell

2.0.0p0 :001 > puts 1+2+3

6

Ruby語が通じる世界

=> nil

2.0.0p0 :002 > exit

irb

\$

shell語が通じる世界 shell

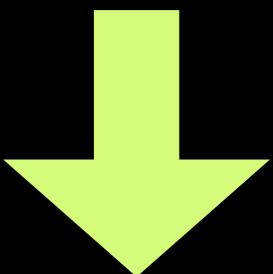
世界を移動するコマンド

\$ irb

shell語が通じる世界 shell

irb

コマンド



2.0.0p0 :001 > puts 1+2+3

6

=> nil

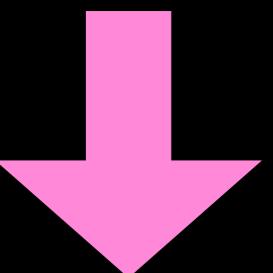
Ruby語が通じる世界

2.0.0p0 :002 > exit

irb

exit

コマンド



\$

shell語が通じる世界 shell

では、shellについてもう少し詳しく説明します。

shellはOSと話をするための世界です。
(OS=PCと考えてもらっても大体あってます)
良く使うコマンドを簡単に説明します。

ls : ファイル一覧を見る

pwd : 今いるフォルダ名を表示

cd : フォルダー移動

mkdir : フォルダー作成

ls：ファイル一覧を見る

```
$ ls
```

ファイル一覧を表示します。フォルダーも見れます。
オプション(スペースに続けて -a や -l を指定可能)

```
$ ls -a (ファイル名が.で始まる隠しファイルも表示)  
$ ls -l (ファイル作成日など詳細情報を表示)
```

pwd : 今いるフォルダ名を表示

今いるフォルダを表示します。

```
$ pwd  
/home/dev/
```

フォルダが階層構造になっているときは
/で区切られます。

cd：フォルダー移動

フォルダーを移動するコマンドです。

```
$ cd フォルダ名
```

親フォルダへ移動する場合は .. を使います。

```
$ cd ..
```

/ で区切って孫フォルダへ一気に移動もできます。

```
$ cd src/Ruby1
```

⇒ srcフォルダの中にあるRuby1フォルダへ移動

mkdir : フォルダー作成

フォルダーを作るコマンドです。

\$ mkdir フォルダ名

ちなみに消すのは rmdir コマンドです。

\$ rmdir フォルダ名

フォルダの中が空でないとrmdir では削除できません。

フォルダの中にファイルなどがあるのに消したい場合は
rm -rf コマンドで削除できます。

※削除したファイルは復元できないので注意して使ってください！！

★危険★

\$ rm -rf フォルダ名



**shellの話はひとまずここまで。
また必要なときに説明します。
次はファイルに
Rubyコードを書いてみましょう。**

ファイルにRubyコードを書いて実行

Ruby(irb)

Ruby語が通じる世界
1行ずつコードを実行

Ruby(ファイル)

Ruby語が通じる世界
ファイルにコードを書いて実行

Shell

OS語が通じる世界
ターミナルの中

コード実行時にshellを利用します。

0. 前準備 Windows

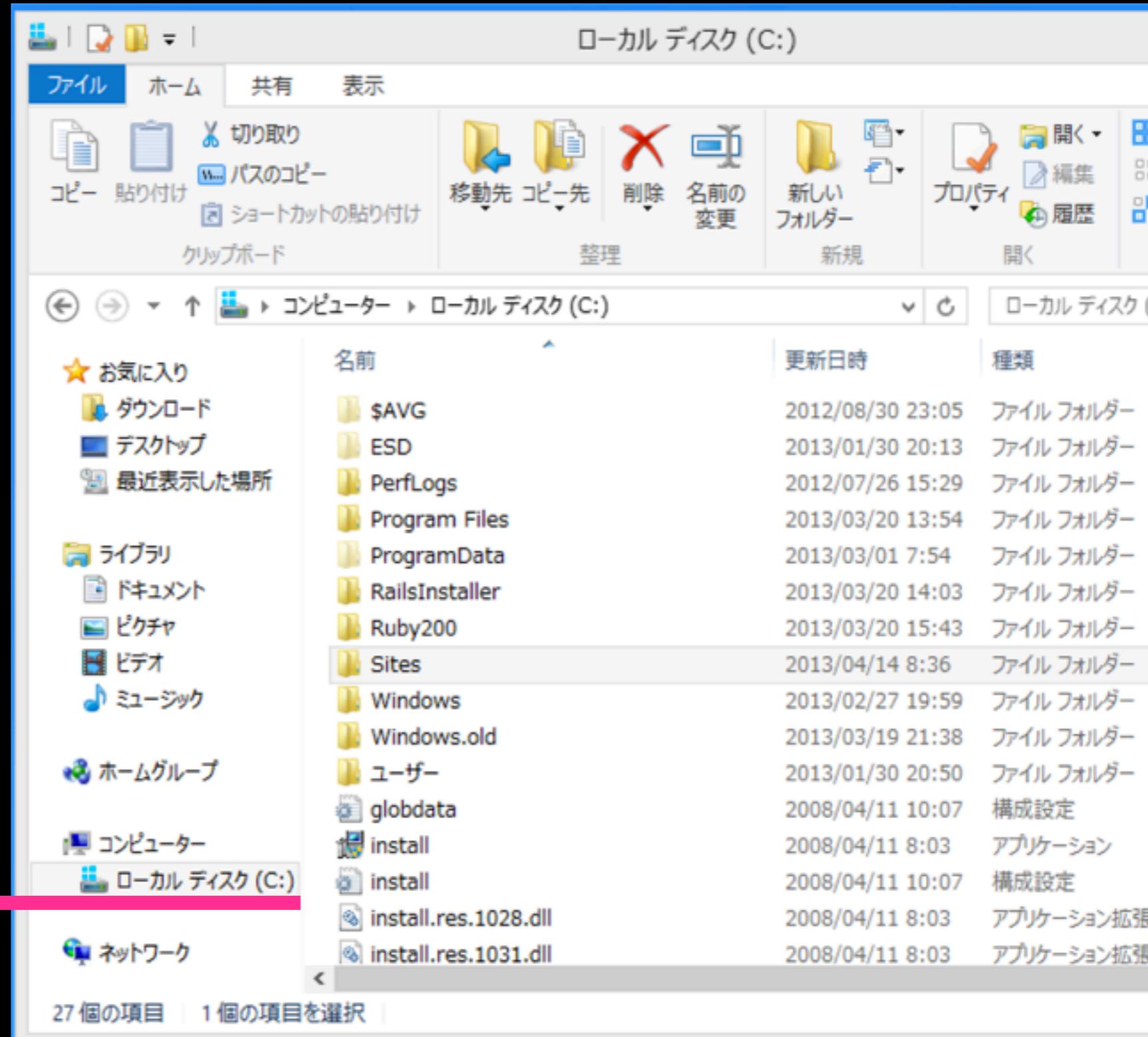
これからのお講義で書くコードを置く場所を作つておきます。

※以下、お勧めの場所を書きますが、詳しい人は自分の好きな場所で構わないです。

C:¥Sitesフォルダ
の中に好きな名前で
フォルダを作つてく
ださい。

(例) C:¥Sites¥src

※ C:¥ フォルダはサ
イドバーの下の方にあ
るのでスクロールして
探してください。



0. 前準備 Mac

これからのお講義で書くコードを置く場所を作つておきます。

※以下、お勧めの場所を書きますが、詳しい人は自分の好きな場所で構わないです。

Mac : home フォルダの下に好きな名前でフォルダを作つてください。(例) /Users/igarashi/src

※Finderにhomeが出ない場合は以下で設定できます。

Finderを起動して画面上部メニューの Finder - 環境設定 選択



←home フォルダにチェック

0. 前準備 Ubuntu

これからのお講義で書くコードを置く場所を作つておきます。

※以下、お勧めの場所を書きますが、詳しい人は自分の好きな場所で構わないです。

Ubuntu : home フォルダの下に好きな名前でフォルダを作つてください。(貸出PCの人は自分の名前をつけるといいかも。) (例) /home/dev/src



Rubyコードをファイルに記述して実行

1. エディタを起動します。

インストールしたエディタを起動します。

お勧めエディタ

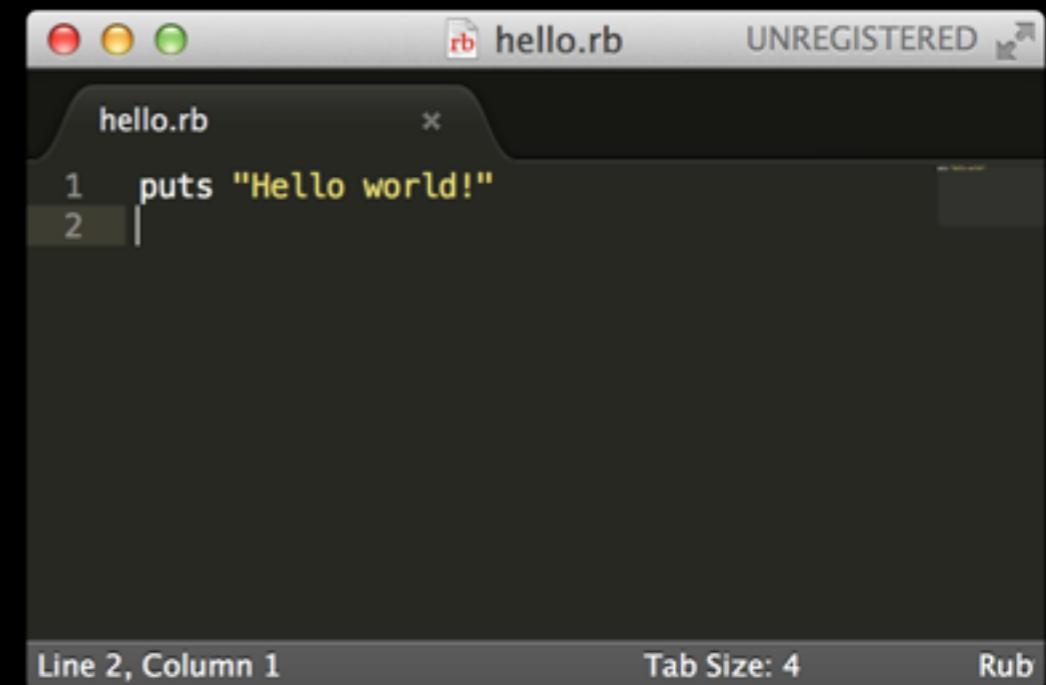
Win, Mac : **SublimeText2**

Ubuntu : **gedit**

(Ubuntu は次ページに解説あります。)

2. プログラムを入力します。

```
puts("Hello world!")
```



A screenshot of the Sublime Text 2 interface. The window title is 'hello.rb'. The code editor contains the following two lines of Ruby:

```
1 puts "Hello world!"  
2 |
```

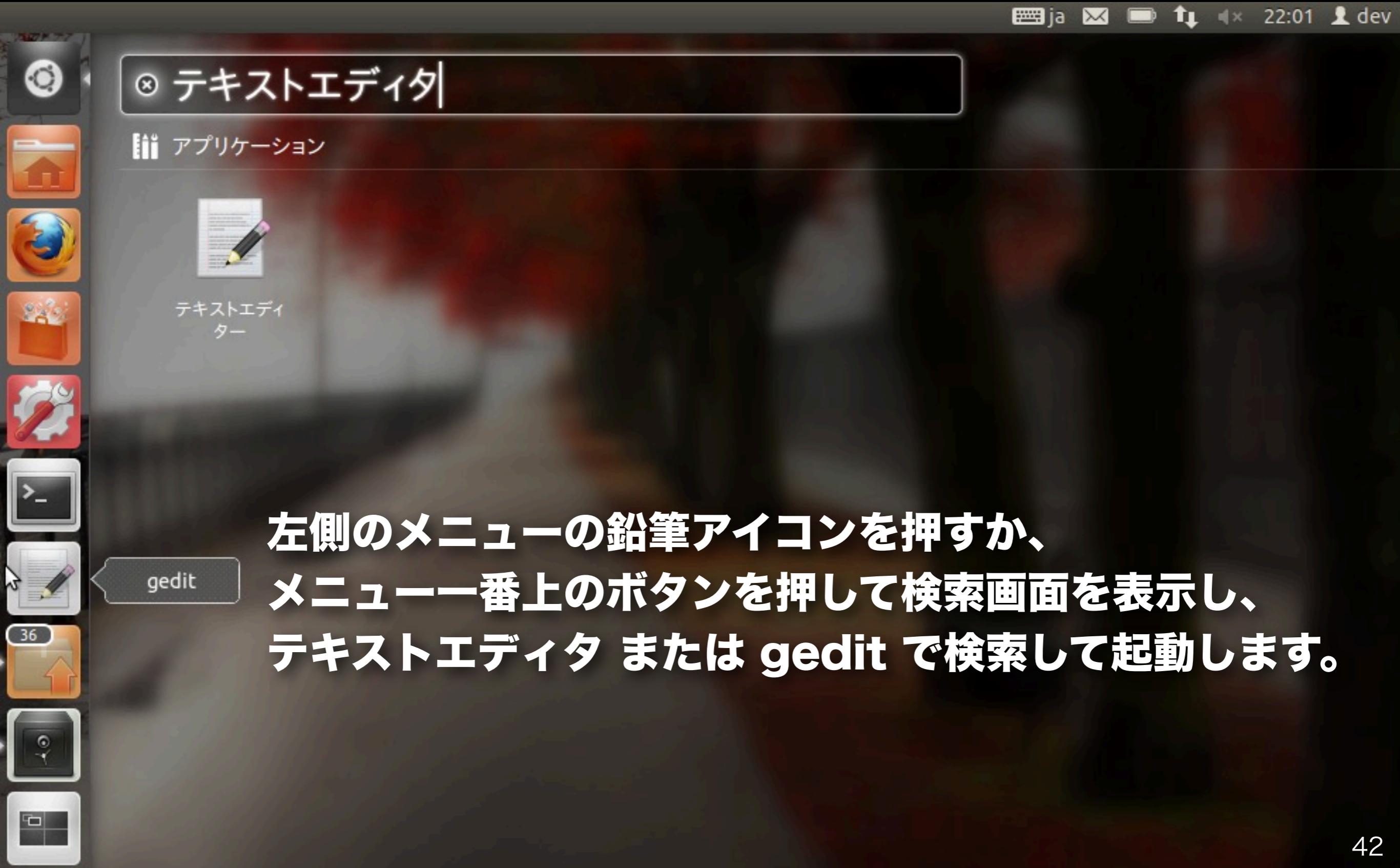
The status bar at the bottom right shows 'Line 2, Column 1' and 'Tab Size: 4'. The word 'Rub' is also visible in the status bar.

3. hello.rbという名前で保存します。

手順0. 作ったフォルダの下に保存してください。

※名前は .rb を付ければ、他の名前でもOKです。

Ubuntu gedit起動



Rubyコードをファイルに記述して実行

4. ターミナルを起動します。

5. cd コマンドでhello.rb を保存したフォルダへ移動します。

\$ cd src

※pwdコマンドを使うと現在のフォルダを確認できます。 \$ pwd

6. hello.rb を実行します。

\$ ruby hello.rb

※ruby [ファイル名] で実行

Hello world! と表示されれば成功です。

成功例

\$ ruby hello.rb
Hello world!

※以下のエラーが出たときは lsコマンドでファイル有無を確認します。

ruby: No such file or directory -- XXX.rb (LoadError)

ファイルにRubyコードを書いて実行 Rubyの世界とshellの世界

ruby語(ruby code) はファイルに書きます。

hello.rb ファイルの中はRuby語が通じる世界

```
puts "Hello world!"
```

ruby code が書かれたファイルをshellで実行します。

```
$ cd src
```

shell語が通じる世界 shell

```
$ ruby hello.rb
```

ターミナルを起動した時の始点フォルダ

Windows : /C/Sites (C:¥Sites)

Mac : /Users/ユーザー名/

Ubuntu : /home/ユーザー名/

エラーメッセージ

正しくないプログラムを実行しようとすると、
エラーメッセージが表示されます。
以下のコードを実行してみてください。

`helloerror.rb`

```
print("Hello, Ruby.\n")
```

```
prin("Hi.") ←正しくない
```

```
$ ruby helloerror.rb
```

Hello, Ruby.

```
helloerror.rb:2:in `<main>': undefined  
method `prin' for main:Object  
(NoMethodError)
```

エラーメッセージは お得な情報を教えてくれる

Rubyが教えてくれたエラーメッセージ

**helloerror.rb:2:in `<main>': undefined
method `prin' for main:Object
(NoMethodError)**

日本語訳

helloerror.rb というファイルの **2** 行目で
prinなんてメソッドはないので
そんなメソッドないよエラー が起きたよ

追加演習

日本語と文字コード

Rubyコード中に日本語を書く場合は、1行目に

```
# encoding: utf-8
```

などと書く必要があります。(マジックコメントと呼びます)

chihayafu.rb

```
# encoding: utf-8
```

```
puts("ちはやふるかみよもきかずたつたがわ")
```

```
puts("からくれないにみずくくるとは")
```

```
$ ruby chihayafu.rb
```

ちはやふるかみよもきかずたつたがわ

からくれないにみずくくるとは

文字コード

コンピュータで日本語を扱う場合には
いくつかの表現方法があります。
これを 文字コード と呼びます。

文字コードの種類

UTF-8 : 基本はこれでOK。スタンダードな方法。
CP932(Shift JIS) : Windowsで使われる。

SublimeText2 や gedit ではデフォルト(初期設定)が(Win でも)UTF-8 になっているので、特に変更する必要はないです。
※なんらかの理由で変更する場合は File メニューの
save with Encoding を選びます。

マジックコメント

そのファイルの文字コードをRubyへ教えるために
1行目に書くおまじないです。

例)

UTF-8 # encoding: utf-8

Shift_JIS # encoding: Shift_JIS

```
# encoding: utf-8 ←マジックコメント
```

```
puts("ちはやふるかみよもきかずたつたがわ")
```

```
puts("からくれないにみづくくるとは")
```

TODO: 復習

參考資料

講義資料置き場

過去の資料がDLできます。

<https://github.com/igaiga/hitotsubashi-ruby-2013>

雑談・質問用facebookグループ

<https://www.facebook.com/groups/hitotsubashi.rb>

- 加入/非加入は自由です
- 加入/非加入は成績に関係しません
- 参加者一覧は公開されます
- 参加者はスタッフ(講師・TA)と昨年、今年の受講者です
- 書き込みは参加者のみ見えます
- 希望者はアクセスして参加申請してください
- 雜談、質問、議論など何でも気にせずどうぞ~
- 質問に答えられる人は答えてあげてください
- 講師陣もお答えします
- 入ったら軽く自己紹介おねがいします